

法人様向け

MITORISM（リレーション（関係性）ケア～**看取り～グリーンケア**）

Ⅱ. 看取り／グリーンケア  
～ここで旅立ちたい。ここで見送りたい～

一般社団法人 繋（つなぐ）

令和元年 8月1日現在

# 看取りって何か

## 看取りとは

無理な延命治療などは行わず、高齢者が自然に亡くなるまでの過程を見守ること。

## ターミナルケア（終末期ケア）とは

余命僅かになってしまった患者さんに延命治療などを行わず、その代わりに心身の苦痛を和らげることを目的としたケアを行うこと。

延命治療を行わない点ではどちらも同じですが、ターミナルケアは医療的ケアであることが大きな違いです。

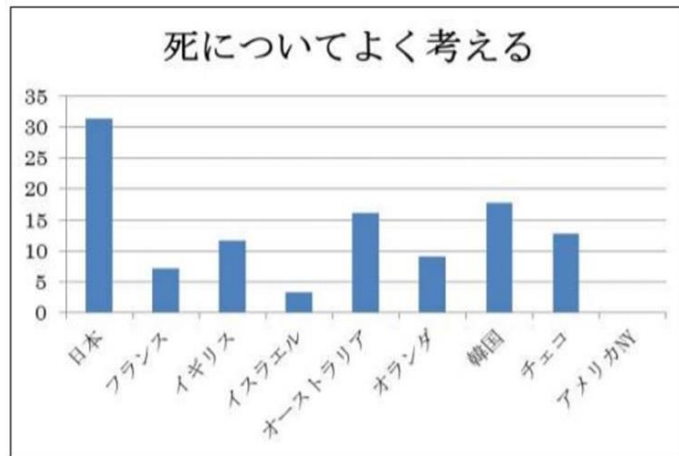
## 緩和ケアの看取りとは

「緩和ケア」とは、生命を脅かすような病気に直面している患者さんやご家族に対して、身体の痛みだけでなく、心の問題・心理的・社会的な痛みも共に対応します。

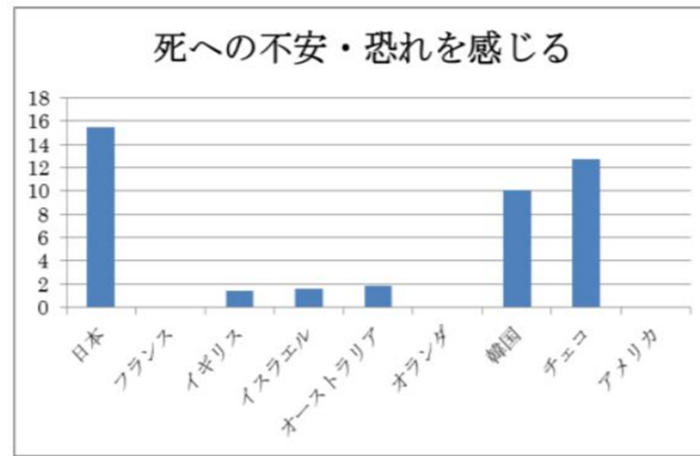
つまり患者さんやご家族が「つらい」と感じたときから始まります。緩和ケアは延命治療続けている方も受けるケア。

繋（つなぐ）の看取りの共育は、緩和ケアの心構えがベースとなっています。

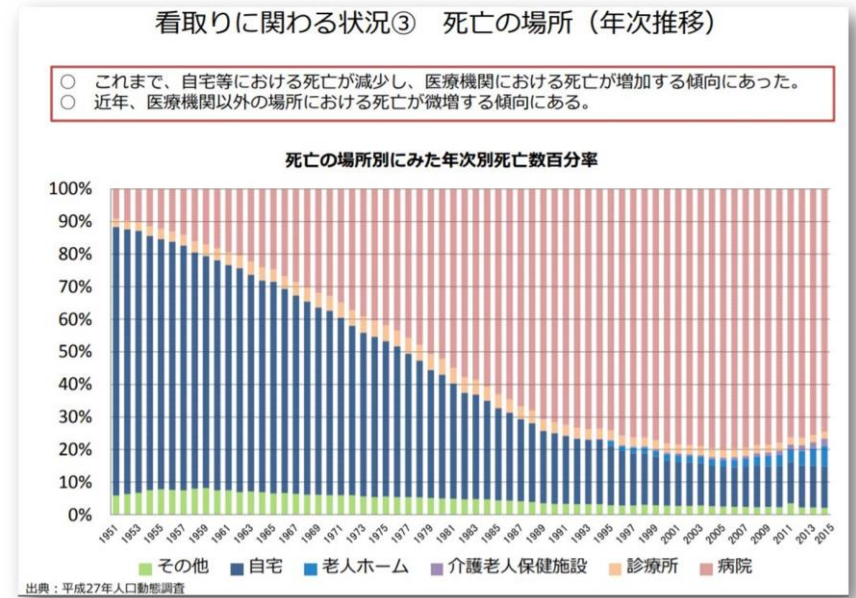
緩和ケア病棟で多くの患者様を看取り、そのご家族のケアをさせていただいた経験で、学ばせていただいた事は、医療的知識や技術はあって然りです。しかし、それ以上に利用者様やそのご家族が求めているのは、身体だけの処置的な看取りではなく、**人として生きてきた背景や気持ち**を汲み取った**心の交流**を必要としています。



どの程度死について考えるか (%) 問 4\_1



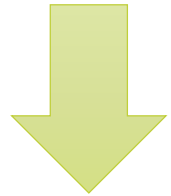
死への不安・恐れを感じるか (%) 問 4\_2



しかし、ケアする側も、ケアをされる側も「死」を看取る環境になく、死を語り合う死生観も養うことがなかった。そのような社会背景の中で生きてきた為、死や看取りは恐怖と不安・疲弊となってくるのが現状です。

## 施設での看取りの悩みは

- \*ルーティンワークで淡々で行う業でいいのかと疑問がある。
- \*そもそもどう看取ることが、ご利用者様やご家族に寄り添えるのか分からない。
- \*看取りが怖く、スタッフも看取りの経験者がいない。
- \*看取りの経験者が少なく、経験者も業務が多く教育まで負担を強いられない。
- \*理念はあるが統一されていない。
- \*職場の人間関係が悪く、相談や悩みを打ち明けられない。



## 恐怖と疲弊する看取りの現状から

### 学びと感謝の看取りへ、繋（つなぐ）がご提供致します

#### \*崩れないための死生観を養う基礎を学ぶ

亡くなるまでの過程が、そのまま自然な形であろうと、医療的なケアがあろうとも、**人の死を見送れる心構えの土台から取り組みます。**

#### \*支え合えるチームづくり

人として悲しむ心を持ちながら、それでいて慈しみ、感謝のもとで見送れる**人**としての専門職の**チーム**づくり

#### \*施設オリジナルの看取りの軸づくり

施設が違えば、人も、習慣も、風習や文化も違います。その**施設の理念を軸にした**看取りの心構えを組み入れておきます。

# 研修Ⅰ：腫れ物に触るような不安な看取りから、 共に生きる温かで、安心できる看取りへ

【看取りに必要な基本の心構えを大切にしています。】

- \* 自分達の置かれた社会的背景から、看取りを行うことへの不安を紐解いていきます。
- \* 看取りが『分からない・出来ない・不安』というところからのスタートです。
- \* 専門職としての各々の原点を見つめ、自身の人としての背景を知るワークを行います。  
そのワークを通し、利用者様とご家族との向き合う視点の枠を広げる思考の変換を行います。
- \* チームとグループの違いを知り、チームとしてどのように機能することが重要かをお伝えします。

# 研修Ⅱ：各施設の看取り理念を軸としたオリジナル研修

- 1：個人の看取りにおける考え・思い・希望（死生観）についての学び  
➡施設・病院理念の方向性の一致を図ります。
- 2：職種の役割を学び連携の在り方を学びます。
- 3：看取り期に起こりうる**身体の変化**を、家族に伝わる言語で学び  
対応技術を習得します。
- 4：家族の支援とチームの支え合いの在り方を学びます。

# 研修Ⅲ

- 1 : 基礎講座のおさらい
- 2 : 感情について/グリーフケア (一般社団法人日本グリーフケア協会の定義)  
予期悲嘆・死別後の悲嘆がもたらす様々な反応  
悲嘆のプロセスをトータルの的に学びます。
- 3 : 看取りの時に必要な  
コミュニケーションスキル (伝わる会話術) と対応を身に着けます。
- 4 : 実施した看取りの振り返り (検証と評価 : デスカンファレンス)  
利用者様の死・看取りから受け取った財産に気付き、次につなげる  
プラス視点でのカンファレンスを学びます。